

令和8年度第1回大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会 議事録（概要）

標記協議会は、令和8年8月20日（木）午後2時00分、大津町役場会議室302において開催された。

1. 当日の出席者は次のとおりである。

被保険者代表	坂本 敦子、小西 悦子
保険医代表	岩上 英一、柴田 昌一朗、永田 将士
公益代表	清原 さおり、松本 幸祐、西村 勝美、田上 あつみ
欠席者	西岡 逸郎、花岡 亮介

2. 当日の議案説明のために出席した者は次のとおりである。

健康福祉部	部長	中井 雄一郎
健康保険課	課長	梅野 真美
健康保険課	国保・医療係長	松竹 昭宏
健康保険課	健康推進係長	大上 隆治

3. 当日の議案は、別紙次第のとおりである。

4. 閉会 午後3時10分

【議事録】

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 町あいさつ

4. 会長あいさつ

5. 委員紹介

6. 職員紹介

7. 議 題

①【説明】国民健康保険制度について

（資料に基づき、事務局説明）

（質疑）なし

②【説明】大津町国民健康保険について

（資料に基づき、事務局説明）

(質疑) なし

③【報告】令和7年度大津町国民健康保険特別会計決算状況について

(資料に基づき、事務局報告)

(質疑) なし

④【報告】令和8年度スケジュールについて

(資料に基づき、事務局報告)

(質疑)

子ども・子育て支援金制度は、最近では子どもの医療費が無償化していると思うが、その費用が不足しているから追加されるものなのか。

(回答)

こども医療費助成制度は、市町村で実施している事業であり、直接の関係はありません。子ども・子育て支援制度は、児童手当の拡充やこども誰でも通園制度といった、新たな子育て施策の財源として健康保険から徴収するものになります。実効性のある少子化対策によって、将来の経済や社会保障を維持するため、負担をお願いするものと説明されています

(意見)

高齢者の世帯からすると、自分たちが子育てをしていたときは、学費も医療費も自己負担して、年金生活になってからも保険料から徴収されるというのは、生活が楽にならない。今の子育てに関しては、昔と比べれば金銭的にかなり楽になっている。世代の全体的なバランスが崩れてきていると感じる。抜本的な見直しも考えなければ、生活が厳しくなる。

⑤その他

(資料に基づき、熊本地震関連について事務局説明)

(質疑) なし

8. 閉 会